

保育目標・保育課程

北波多保育園・北波多第二保育園

保育目標

おさな子の 保育に生かそう
慈悲の手を

明るく 正しく 仲よく 豊かに

清新なる仏教精神を基底とし、「保育所保育指針」及び「楽しく食べるこども～保育所における食育に関する指針」に準拠し、適切なる環境の中で、生命尊重の保育、常に正しきをみきわめ進む保育をし、その心身を健全に発達せしむることを目的とする。

その保育目標の達成のために保育課程を下記のとおり定める。

保育課程

【 奉仕 ～ 子どもの人権・環境・平和 】

1. 思いやり、助け合い、いのちを大切にする力を育む

【 反省 ～ 人間関係の基礎を学ぶ・挨拶 】

2. 明るく、すなおで、みんな仲よく元気でのびのびと過ごす力を育む

【 忍耐・努力 ～ 学習意欲・関心・興味 】

3. ガマンする力、良いことを最後までやりぬく力、学習意欲を育む

【 静かなところ ～ 基本的生活習慣・食育 】

4. 落ち着いた生活の中でものを大切に、感謝し敬う心、じりつ心を育む

北波多第二保育園は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設です。

したがって、保育園における保育は、ここに入園する乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしいものでなくてはなりません。

保育園は、乳幼児が、生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、その生活時間の大半をすごすところです。保育園における保育の基本は、家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補完を行い、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図るところにあります。

そのために、養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成するところに保育園における保育の特性があります。また、子どもを取り巻く環境の変化に対応して、北波多第二保育園では、地域における子育て支援センターを開設し、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなど社会的役割もはたしています。

このような理念や状況に基づき、保育を展開するにあたって社会福祉法人常安会北波多第二保育園の『保育の目標・保育課程』を定めています。